



世界最大級の食品・飲料総合国際見本市「シアル・パリ 2026」

2026 年の重要な食のトレンドとシアル 2026 年展の注目プログラムが明らかに！

シアル・パリ 2026 の開幕まであと数か月と迫りました。世界の食品業界を牽引する国際見本市
シアルが、食の未来を形づくる主要トレンドと、2026 年展のプログラムを発表しました。

シアル・インサイト 2026 トレンdreポート



シアルは 2 年に一度、世界の食品・飲料および外食市場を独自の視点で詳細に分析し、「**2026 年の『食』はどうなるのか？**」という問いに向き合います。

「**シアル・インサイト 2026 トレンdreポート**」は、商品イノベーションから消費者行動の変化まで、食の未来を動かす大きな力を新たな視点から読み解くものです。

本レポートでは、以下の 3 つの主要な国際調査の結果を組み合わせ、**10 の主要トレンド**を明らかにしています。

- 「**Kantar Food 360™ study**」：シアル・パリのために 2 年ごとに実施される、消費者行動に関する Kantar 社の独自調査

- Protéines XTC 社による「**Global Food Innovation Barometer**」：食品イノベーションと商品開発を専門とする同社による世界の食品イノベーション調査
- 世界的な消費者行動・市場調査を分析する Circana 社による市場別調査「**Targeted market studies**」：日用消費財、小売、外食、デジタル分野を対象とした調査

食における「楽しみ」という普遍的な価値から、パーソナライゼーションやインクルーシブな商品・サービス、高機能化、さらにはイノベーションそのものの変化に至るまで、本レポートは複雑化する現在の食品市場を 10 の明確なトレンドに整理しています。

2026 年の「食」：複雑なグローバルフードマーケットを読み解く 10 の主要トレンド

現在のトレンド

1. 健康的な食品は、高いパフォーマンスを発揮できる身体の燃料となる

機能性食品は、もはや一部の消費者だけのものではなく、日常的な選択肢となっています。消費者は単に「自然な原材料を使用しているか」ということだけでなく、たんぱく質、食物繊維、免疫強化、消化器への働きかけ、エネルギー補給などの健康効果が、具体的に測定可能な商品を選択するようになっていきます。パーソナライズされた栄養設計や、GLP-1 受容体作動薬の普及も、食品イノベーションの方向性に変化をもたらしています。

2. 腸は第二の脳：メンタルヘルスをサポートする食品

栄養摂取が、これまで以上に感情やメンタルヘルスと密接に結びつくようになっていきます。消費者は睡眠の質の向上、ストレス管理、認知機能、ホルモンバランスの調整、健康的なエイジングなどをサポートする食品を求めており、「ウェルビーイング」な食品を日々の買い物に取り入れています。

3. 食の楽しみは、より意識的に記憶に残る体験を

食は大切な「楽しみ」のひとつですが、消費者はより高級で、五感に訴え、記憶に残る体験を食に求めています。大胆な風味、食感、味わいの強さ、新たな食文化との出会いが、商品イノベーションに欠かせない重要な要素となっています。

4. 地球規模で取り組む課題は一人一人の身近な行動へ

「サステナビリティ」は、世界規模の抽象的な環境理念から、個人が日常生活で実践できる具体的な行動へと変化しています。消費者は、従来の「ナチュラル」や「オーガニック」という訴求より、CO2 排出量が低いこと、地元で作られた商品であること（地産地消）、シンプルな原材料でできていること、手に取りやすい価格のサスティナブル商品であることなどを重視しています。

5. プラントベースの食品は新たなステージへ

プラントベースの食生活は、単に肉製品を代替することだけではありません。消費者は、豆類や野菜をはじめとする多様なプラントベース食材を、バランスの取れた食生活の一部として取り入れています。一方で多くの市場において、食肉消費は引き続き堅調に推移しています。

6. 「個別に最適化された商品」が新たなスタンダードに

消費者は、自らの身体的特性、ライフスタイル、年齢、嗜好にフィットしてくれる食品を望んでいます。特定の栄養目標、ライフステージ、食事の場に合わせた商品がますます増えています。

7. 「決まった食事習慣」の終焉

特に欧州では、従来型の食事スタイルが消えるわけではありませんが、食事習慣はよりフレキシブルになっています。従来の食事習慣に並行して、ヘルシーな間食や少量に抑えた食事スタイルが流行しており、商品の「利便性（手軽さ）」と「機能性」への需要が高まっています。

新たに注目されるトレンド

8. 手の届く「付加価値」

インフレが家計に影響を与える中でも、消費者は品質、健康、サステナビリティを商品に期待しています。ただし、手ごろな価格であることが不可欠です。イノベーションは、手ごろな価格の高品質商品、小容量フォーマット、食品ロス削減につながるスタイルで、現実的な価格で消費者に付加価値を提供する方向へと向かっています。

9. デジタルが食の選択を変える

デジタルチャネルは、商品を購入するまでのプロセスに欠かせない存在となっています。SNS やインフルエンサー、オンライン上の口コミやおすすめ、デジタルサービスが、「商品の発掘」、「飲食店選び」、「購買判断」に大きな影響を与えています。各食品メーカーには、売場の棚だけでなくオンラインサイトにおいても、確かな存在感を示していくことが求められています。

10. インクルーシブなイノベーション

インクルーシビティ（包括性）は、コンプライアンスの範囲を超えて「商業的なチャンス」となっています。消費者は、食品や外食サービスに対して、より幅広い食事習慣のニーズ、健康状態、文化的背景、ライフスタイルに対応した商品やサービスを提供してくれることを期待しています。同時に、しっかりと社会的責任を果たすブランドや、誰もが手に取りやすい商品への評価も高まっています。

10 大トレンドを貫く 5 つの大きな変化

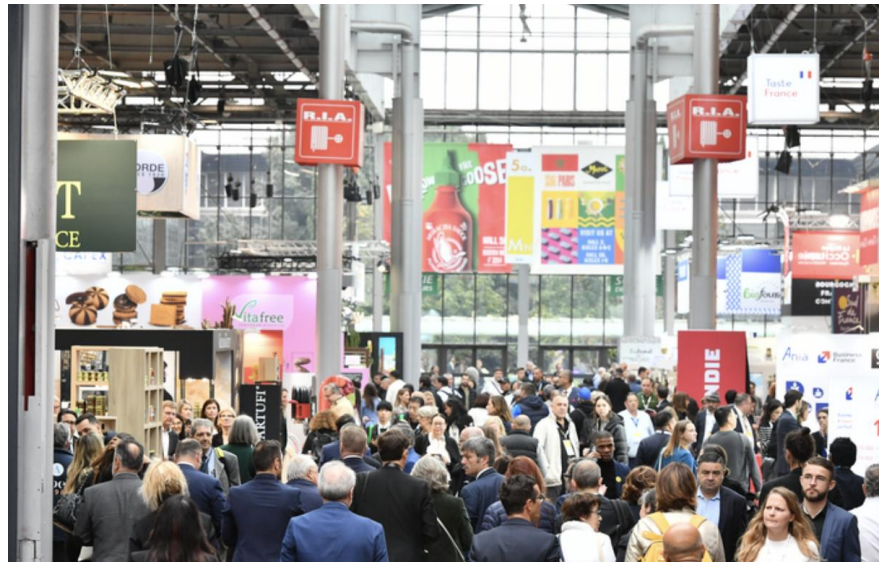
- **健康**は、より「機能的」かつ「パーソナライズ」されたものへ
- **食の楽しみ**は中心的な価値でありつつ、より「体験型」「プレミアム志向」へ
- **個別に最適化**することが、食品イノベーションのほぼすべての領域に影響している
- **価値**は、「手頃な価格」と「明らかなメリット」の両立を意味する
- **イノベーション**はデジタルの影響、インクルーシビティ、実践的なサステナビリティに牽引される

シアル・インサイト 2026 のトレンドレポートはこちらからダウンロードできます（英語・仏語）

[SIAL INSIGHTS](#)

イノベーション、トレンド、ビジネス：シアル・パリ 2026 の注目コンテンツ

シアル・パリは **2026 年 10 月 17 日（土）～21 日（水）** に **フランス パリ・ノール見本市会場** に世界のあらゆる食品業界のエコシステムを集結させます。消費者の期待、経済環境、食生活の変化がかつてない速さで変化中、今回展では業界の未来を形づくるイノベーション、市場の変化、ビジネスチャンスの皆様にご紹介します。



シアル・パリを代表する企画「**SIAL Innovation（シアル・イノベーション）**」は、**2026 年に 30 周年を迎えます**。明日の食品市場を形づくる商品、サービス、コンセプトを発掘する国際的なベンチマークとして、その存在感をさらに高めます。また、イノベーションは、参加予定の **650 社を超えるスタートアップ企業**のブースでもご紹介予定です。このうち **150 社が専用エリア「スタートアップ・ビレッジ」**に集結し、食品バリューチェーンのあらゆる工程を再構築する新たなソリューションを紹介します。

食品業界の課題解決には、これまで以上に「協力」と「専門知識の共有」が求められています。シアル・パリ 2026 では、世界各国の専門家、意思決定者、メーカー、小売業者、起業家を集めて、**シアル・サミット、シアル・トーク、そして各種カンファレンス**を展開します。これらのセッションは、業界の未来を共に考え、食品業界を大きく変えつつある変革を読み解くとともに、業界が直面する経済的・社会的・技術的・環境的課題に対する実践的な解決策を皆様に提示することを目的としています。

さらに 2026 年展では、食品業界の最新動向を紹介する複数の専門エリアが新たに登場します。

企業のサステナビリティおよび事業変革を推進するためのピッチ、コンペなどさまざまな企画を体現する **SIAL for Change（シアル・フォー・チェンジ）**は、今回展でもますます大きく成長し、企業に寄り添います。

新エリア SIAL Street Food Lab（シアル・ストリート・フード・ラボ）では、ストリートフード、テイクアウト、外食の最新トレンドにフォーカスします。同じく**新エリア SIAL Bakery（シアル・ベーカ**

リー) では、パン、ヴィエノワズリー、ペストリー業界におけるイノベーションと専門技術を紹介します。

これらの新エリアは、来場者の皆様に新たな発想をもたらし、業界関係者同士の出会いを促進し、国際的なビジネスチャンスを創出できるように設計されています。

シアル・パリ 2026 のプレスキットはこちらからダウンロードできます (英語・仏語)

[PRESS KIT](#)

シアルは食品業界を読み解き、インスパイアしていく

シアル・パリは**インスピレーションと戦略的知見の集積地**であり、食品業界関係者が市場の大きな変化を理解するサポートをしています。消費者の期待・テクノロジー・市場の変化が激しい環境下で、シアルは**業界を俯瞰し、視野を広げ、十分な情報に基づいた戦略的な意思決定を行うために必要な知見**を皆様に提供します。



シアル・グローバルサミットをはじめとする**複数のステージで開催されるカンファレンス**や、専門家が登壇する**シアル・トーク**を通じて、来場者は価値のある知見、新たな視点、実践的なヒントを得て、今後のビジネス戦略に役立てることができます。

シアル・パリ 2026 の会期中 5 日間を通して開催される**シアル・トーク**では、食品業界の第一線で活躍する専門家、食品メーカー、小売業者、外食産業の専門家が集い、世界の食品業界

の未来を左右する重要テーマを議論します。各セッションは 30 分で、消費者行動、人工知能 (AI)、イノベーション、国際貿易、サステナビリティなどをテーマに、実践的な知見と将来予測にもとづいた分析を皆様に提供します。

主要プログラム

高齢化する世界の食市場：食品業界の次なる成長ドライバーとは

10月17日（土）12:15～12:45

急速に拡大するシニア消費者市場と、そこから生まれるイノベーションの機会を探ります。高齢者のニーズが、食品業界の重要な成長要因になりつつあることにフォーカスします。

アジア：世界で最も成長している食品市場をどう捉えるか

10月18日（日）14:45～15:15

シアル・ネットワーク主催のプログラムで、中国から東南アジアに至るアジア各地の成長機会と、世界有数のダイナミックな食品市場を動かすトレンドを分析します。

輸出戦略で差別化する方法

10月19日（月）11:15～11:45

欧州を代表する食品・農業技術に特化したハイテク企業の集積地 Agropole 主催で、このカンファレンスでは市場の選定、現地への適応、競争力のある価値提案方法など、国際展開を成功させる実践的なガイダンスを提供します。

シアル・インサイト：食品市場を形づくるトレンドを理解する

10月19日（月）～21日（水）12:00～12:30

Circana 社、Kantar 社、Protéines XTC 社の専門家が、シアル・インサイトの最新調査結果を発表します。変化する消費者の期待と、世界の食品市場に影響を与える主要トレンドを分析します。

超加工食品：食品業界が直面する重要課題

10月20日（火）16:15～16:45

「超加工食品」の定義、その周辺にある課題、そして変化する消費者の期待にどのようにメーカーが対応していくかに関する実践的なアプローチを議論します。

シアル・グローバルサミット



シアル・グローバルサミットは、質の高いコンテンツで提供するカンファレンスプログラムです。世界の意思決定者、業界専門家、オピニオンリーダーが集結し、食品業界に影響を与えている大きな変化について深く議論していきます。各サミットは**2時間30分**で構成され、食の未来を形づくるテクノロジー・消費者行動の変化・グローバルな課題に関して、戦略的分析と実践的な知見を提供します。

2026 年サミットの主要テーマ

様々な圧力にさらされる世界でどう「食」を提供していくか 10月19日（月）10:30～13:00

食品業界が環境・地政学・サプライチェーン上の課題に適応しつつ、長期的なレジリエンスを確保できる方法を探ります。

フード・インテリジェンスーバリューチェーンを再定義 10月19日（月）14:00～16:30

食品バリューチェーンのあらゆる工程で、人工知能（AI）・デジタル技術・データ・デジタルプラットフォームがどのような変化をもたらしているのかを検証します。

栄養がパーソナライズされる時代 10月20日（火）14:00～16:30

科学とテクノロジーの進歩により、ますます栄養が個人に合わせて設計されるようになったことで、消費者の食習慣がどのように変化したかを調査していきます。

日本からの出展参加状況

シアル・パリ 2026 年展は、現時点ですでにほとんどの出展スペースが販売済みとなっています。シアルは出展・来場共に日本企業にも非常に人気のある見本市で、今回も日本貿易振興機構（JETRO）がシアル・パリ 2026 にジャパン・パビリオンを出展予定、66 社の企業・団体がジャパン・パビリオン傘下で参加予定です。その他日本の大手企業も続々と参加予定です。

プレス登録受付中！

海外メディア向けのプレス登録は、2026 年 4 月 15 日より受付を開始しています。

世界各国の報道関係者は、シアル・パリ 2026 の会場にアクセスでき、

最新イノベーションや業界の重要なトレンドを取材するための専用バッジをこちらから申請できます

<https://badge.sialparis.fr/en/home.htm>

<シアル・パリ 2026 概要>

- 会期：2026 年 10 月 17 日（土）～21 日（水） 10：00～18：30（最終日は 17:00 まで、14:00 までに要入場）
- 主催：コメクスポジウム社（フランス）
- 会場：フランス パリ・ノール見本市会場
- 出展分野：食品加工、インスタント食品・ケータリング、冷凍食品、乳製品、海鮮類、飲料、オーガニック・ウェルネス、惣菜製品、肉、豆類・穀物・果物、代替食品、アレルギーフリー食品など
※出展者リストはこちら：<https://www.sialparis.com/en/exhibitors-2026>
- シアル・パリ 2026 公式ホームページ（英語／仏語）：<https://www.sialparis.com/en>
- 入場バッジは公式サイトにてご購入いただけます：<https://www.sialparis.com/en/practical-info/Fees>
入場料：5 日間有効の入場バッジは公式サイトで 90～160€で購入可（各販売期間において早期割引適用）
当日会場では 210€で購入可（他 VIP バッジやグループ割引もあり。詳細はフランス見本市協会まで）
- 2024 年展実績：来場者数 **285,000 人**（うち 78,5%がフランス国外から）、出展ブランド数 127 カ国より **7,500 社**

<シアル・パリについて>

コメクスポジウム社が主催するシアル・パリは、世界最大級の食品総合見本市です。2026 年展では 8,000 社を超える出展者の参加と、40 万点におよぶ製品の展示が見込まれています。2 年に一度開催される当見本市は、業界における最新トレンドやビジネスチャンスを提供する特別な場として、世界中の食品・飲料関係者から高い評価を得ています。

シアル・パリは、食品・飲料見本市として世界最大のネットワーク「シアルネットワーク」の中核を担うイベントです。同ネットワークは、11 におよぶ定期的な見本市開催《SIAL Paris、SIAL Canada（モントリオールおよびトロント）、SIAL China（上海および広州）、SIAL Interfood（ジャカルタ）、SIAL India（ムンバイ）、Food & Drinks Malaysia by SIAL（クアラルンプール）、Gourmet Selection by SIAL、Salon du Fromage et des Produits Laitiers、Djazagro

(アルジェリア) 》を通じて、205 か国から 17,000 社の出展者と 70 万人の業界関係者を結集しています。次回のシアル・パリは、2026 年 10 月 17 日～21 日、フランス パリ・ノール見本市会場にて開催予定です。

シアル・パリ公式 HP: www.sialparis.com

<コメクスポジウム社について>

コメクスポジウムグループは、世界を代表するイベント主催企業で、B to C や B to B の各種イベントに携わっております。

世界 24 カ国・80 都市で見本市や一般向けの展示会、コンベンション、商談会など年間約 400 のイベントを開催しています。食品・飲料分野では、シアル・ネットワーク、ワイン・パリをはじめとするヴィネクスポジウムのイベントや、サロン・デュ・ショコラやサロン・ドゥ・ラ・パティスリー、グルメ・セクション、サロン・デュ・フロマージュ、ジャザグロなどの業界関係者向けの見本市を主催しています。パリやアムステルダム、上海、香港、ホーチミン、ムンバイ、ドバイ、ニューヨーク、モントリオール、トロント、アルジェ、イスタンブールやリマで、35 を超えるイベントに約 150 万人の来場者と 2 万 6,000 社の出展者を迎えています。コメクスポジウム社は、その他「Foire de Paris (ライフスタイル) 」、「One to One Retail E-Commerce (小売・E コマース) 」、「Les Assises de la Cybersécurité (サイバーセキュリティ) 」、「l'Étudiant (教育) 」、「Who's Next (ファッション) 」および「シルモ・パリ (メガネ・サングラス) 」、「Rétromobile (クラシックカー) 」および「Jakarta Auto Week (モビリティ) 」など、各業界を代表する国際的な見本市・イベントブランドを展開しています。また、2025 年には CSR (企業の社会的責任) に関する認証「Positive Company®」を取得。パリ首都圏 (イル・ド・フランス地域圏) に本社を置き、グループ全体で約 1,200 名の従業員を擁しています。www.comexposium.com

<本件に関するお問い合わせ先>

フランス見本市協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-3-20 仙石山アネックス 204

TEL:03-6809-1650 FAX:03-6721-5578 E-mail: japan@promosalons.com

Official HP: <https://promosalons.com/cs/japan/>

Facebook : <https://www.facebook.com/PromosalonsJapon>

LinkedIn : <https://www.linkedin.com/company/35905106>

X: https://x.com/Promosalons_JP

様々なフランス産業見本市に関するニュースをアップしております。ぜひフォローください！